

報道関係各位

2020年1月30日

公共交通オープンデータ協議会

## 「第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ」 入賞作品を発表

公共交通オープンデータ協議会（会長：坂村 健 INIAD 東洋大学情報連携学部 学部長）は、「第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ」の入賞作品を、2020年1月30日（木）に東洋大学赤羽台キャンパス INIAD ホールで開催された表彰式において発表しました。このコンテストでは、本協議会に参画する首都圏の主要交通事業者のデータをはじめとした多数の公共交通関連データを一般の開発者に公開し、それらを用いた様々なアプリケーションやアイデアを募集しました。海外も含め、多くの参加があり、約1000件の開発者登録と、約90件の作品応募をいただきました。その中から、2本の最優秀賞、4本の優秀賞、6本の審査員特別賞を選定しました。表彰式には、共催として参加した東京都を代表して、小池百合子東京都知事も出席し、祝辞を述べました。

今回、最優秀賞に選ばれたのは、草薙昭彦氏による「Mini Tokyo 3D」と、大澤達蔵氏による「UpNext」の2本です。東京のリアルタイム3Dマップを表示する「Mini Tokyo 3D」は、似たコンセプトはこれまでもあるものの、非常に高い完成度であることや、ソースコードをGitHubでオープンにしている点が、高く評価されました。入力操作が一切不要という「UpNext」は、技術的に高度であることはもちろん、これまでにない新しいアプローチで、使いやすさを追求していることから選ばれました。その他、協力組織からの特別賞も含め、多数の優秀な作品が入賞作品に選ばれました。各入賞作品につきましては、参考資料をご参照ください。

第3回となる本コンテストは、公共交通オープンデータ協議会の主催、東京都、国土交通省、INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）、東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センターの共催により、2019年1月16日（水）から2019年11月15日（金）の応募期間で開催されました。東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社の特別協力をはじめ、計32社局の鉄道、バス、航空関係の各交通事業者の協力を得て実施された、大規模な公共交通分野のオープンデータコンテストとなりました。路線情報、時刻表情報などの静的データのほか、電車やバスのリアルタイムな位置情報と運行情報、航空機の発着情報などの動的データも公開され、日本だけでなく海外からも多数の参加がありました。

公共交通オープンデータ協議会では、今回表彰を行った第3回コンテストに続き、2019年11月18日より「第4回東京公共交通オープンデータチャレンジ」を継続実施中です。公共交通オープンデータ協議会は、日本の公共交通データ・プラットフォームの構築に向けた活動をさらに加速してまいります。

以上

[問い合わせ先]

公共交通オープンデータ協議会事務局（YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内）

担当： 柏、山田 電話：03-5437-2270、E-mail：odpt-office@ubin.jp

## 【参考資料1】

## &lt;入賞作品&gt;

賞	作品名	応募者名（敬称略）
最優秀賞	Mini Tokyo 3D	草薙 昭彦
	UpNext	大澤 達蔵
優秀賞	わたしの構内図	大里 虹平
	OneDayTrip 日帰り飛行機ナビ	大野 伸一
	バス楽ライド	レシップ株式会社 中村 友哉・足立 和那・加藤 優
	Tokyo Departure Board	Little Bird Solutions
審査員特別賞	いついく？くらべる。Powered by Worker Step	羽田野 湧太
	トレナビ	奥田 顕浩・高橋 時市郎
	TYO 3 BRUSHUP	ナカムラカズヒロ
	imacoco ～I'm here～	Team imacoco
	iOS Framework for ODPTData	池間 健仁
	イスラム教徒の観光客向け旅行プランナー	日本工営株式会社 中央研究所
東日本旅客 鉄道特別賞	wiev-map	水藤 裕太
	Sugukuru	Mikael LE GOFF
	東京会場ロケーター	守山 博理
東京地下鉄 特別賞	とらたる	亀田 遼希
	TOKYO アニめぐり	株式会社研文社
	シェア散歩	同志社大学経済学部 宮崎耕ゼミ 4班 石島 孝俊・石垣 智貴・馬服 美季・柳井 智花・安田 あい
東京都交通局 特別賞	t o b u s R	白井 洋至
	Tōkyō Day-Pass Search	三井情報株式会社 ものづくりサークル
	どこ？バスのりば	上林 知彦
INIAD 特別賞	Sounds of Transport	Umut Karakulak
	Delain!	鎌谷 天馬・野崎 智弘・池田 逸水
	スマートフォンセンサを用いた鉄道ユーザの乗 車列車特定手法	野口 和宏

## 【参考資料 2】

### 最優秀賞「Mini Tokyo 3D」(応募者: 草薙 昭彦)

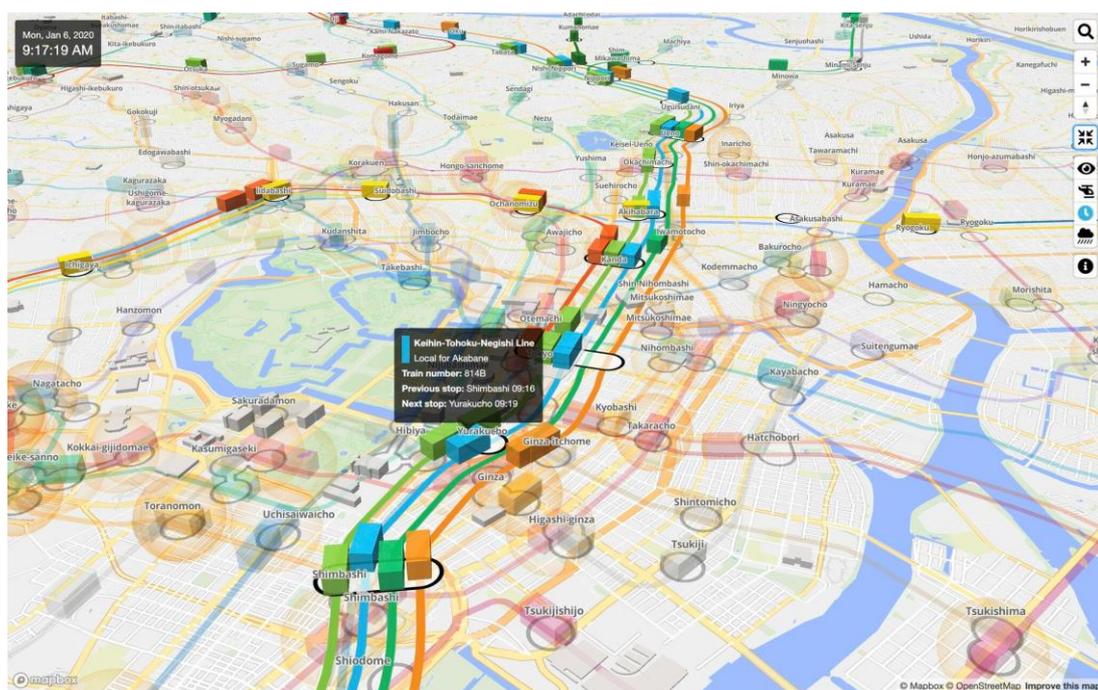
#### [作品説明]

Mini Tokyo 3Dは東京の公共交通のリアルタイム 3D マップです。

今、実際に動いている列車や発着している旅客機をリアルな 3D マップ上に滑らかなアニメーションで表現します。これは、現実世界とそっくりな双子をデジタルの世界で表現した「デジタルツイン」です。

東京に来たことがない人でも、東京の交通機関がどのように動いているかを直感的に理解できるように、本アプリを開発しました。

列車や旅客機は現実の時刻表やリアルタイムの遅延情報に従って運行し、東京の日の出・日の入り時刻や天候に合わせて景色の明るさや降水アニメーションが変化します。ユーザーは自由に 3D マップ上を動き回り、見たいところにズームインして東京の「今」を知ることができます。路線図として乗り換えルートを調べる、出かける前に目的地の街と天気を下調べする、列車を自動追跡して沿線の様子をただひたすら眺めるなど、さまざまな使い方ができます。



作品 URL: <https://nagix.github.io/mini-tokyo-3d/>

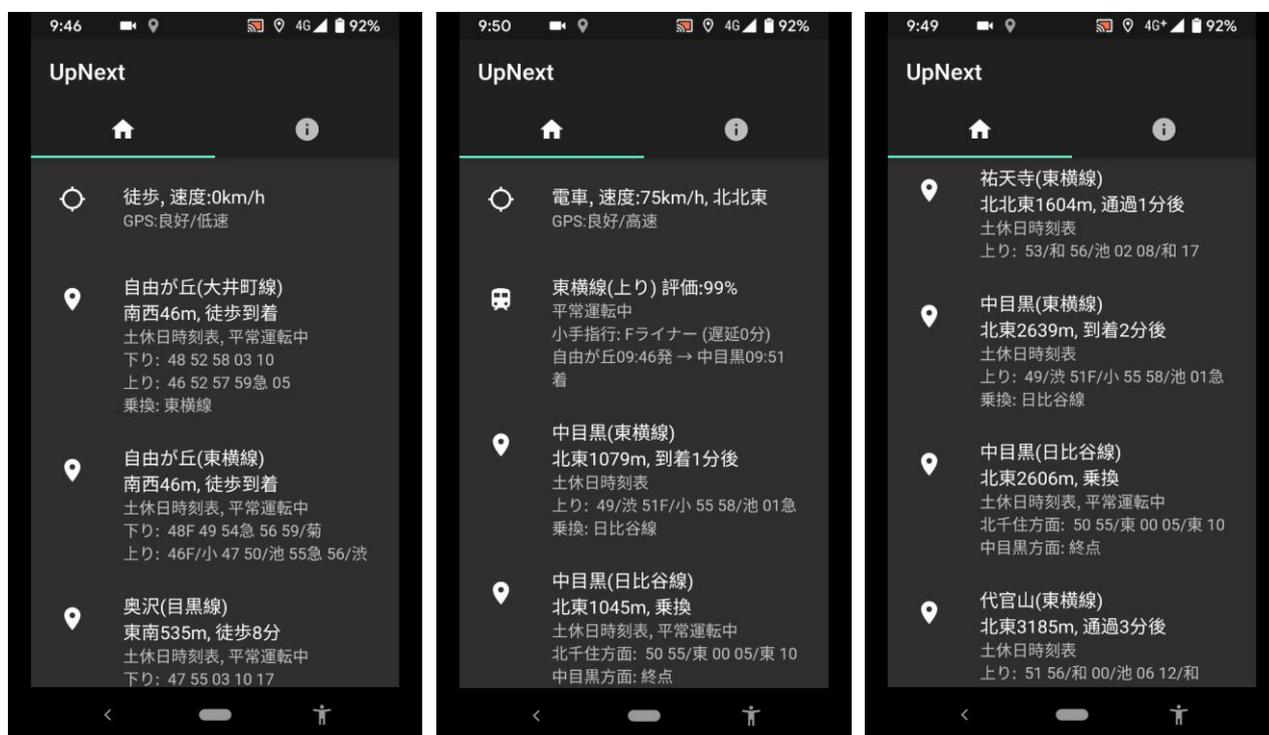
### 【参考資料 3】

#### 最優秀賞「UpNext」(応募者：大澤 達蔵)

##### [作品説明]

UpNext は、入力操作が一切不要な新感覚フルオートナビです。

近くの駅の時刻表を確認したい、とかの良くあるシーンですが、普段使っているナビでもちょっとした操作をするのって煩わしいですね。また、今乗っている電車があとどのくらいで目的地に着くのかを、電車内の案内版が見えない位置で、知りたいと思ったことはありませんか。UpNext は、アプリを立ち上げるだけで、現在の位置や移動履歴をもとに、あなたの近くの駅や乗っている電車を自動判別し、今のあなたに最適なナビ情報を表示します。使いやすさを究極まで追い求めた、簡単操作を超越する、操作不要のナビです。



作品 URL: <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.tatsuzoosawa.upnext>

## 【参考資料 4】

### <第3回チャレンジ開催概要>

#### [主催]

公共交通オープンデータ協議会

#### [共催]

東京都、国土交通省、  
INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）、  
東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター

#### [特別協力]

東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社、  
YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

#### [協力]

小田急電鉄株式会社、小田急バス株式会社、神奈川中央交通株式会社、関東バス株式会社、京王電鉄株式会社、京王電鉄バス株式会社、京成電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、国際興業株式会社、相模鉄道株式会社、ジェイアールバス関東株式会社、西武鉄道株式会社、西武バス株式会社、全日本空輸株式会社、相鉄バス株式会社、東急バス株式会社、東急電鉄株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、東京臨海高速鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、東武バス株式会社、成田国際空港株式会社、西東京バス株式会社、日本空港ビルデング株式会社、日本航空株式会社、株式会社ゆりかもめ、横浜市交通局

#### [オープンデータ・パートナー]

一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）、国土地理院、気象庁、気象ビジネス推進コンソーシアム、G 空間情報センター

#### [後援]

IT 総合戦略本部、総務省

#### [スケジュール]

コンテスト実施期間：2019年1月16日～2020年3月31日

応募期間：2019年1月16日～2019年11月15日

結果発表・表彰式：2020年1月30日（木）15:00～17:00 / 東洋大学 赤羽台キャンパス INIAD ホール

#### [募集内容]

公共交通オープンデータやその他のオープンデータを融合的に活用した、新しいアプリケーションやアイデアを募集しました。

今回のコンテストでは、目前にせまった2020年の国際的イベントに向け、障害を持つ方、訪日外国人の方、高齢者の方や東京に不慣れな方など、誰もが公共交通機関を使ってスムーズに目的地まで辿り着ける「東京」を実現する作品を、特に歓迎しました。公共交通機関の情報を提供する作品、乗換の際の屋内外のスムーズな移動をサポートする作品、さらには移動そのものを楽しめる作品など、広くさまざまな作品・アイデアの応募にも期待しました。

スマートフォンアプリ、Webサービス、IoTガジェット等実際に稼働する作品に限らず、プロトタイプやビジネスプランの応募であっても構わないものとししました。

本チャレンジで公開されているデータを利用することを必須としますが、連携オープンデータや他のデータを組み合わせた作品も歓迎しました。

#### [審査]

以下の審査員による審査会を実施しました。

(審査員長)

坂村 健：公共交通オープンデータ協議会 会長、INIAD（東洋大学情報連携学部）学部長

(審査員)

瀬口 芳広：国土交通省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官

戸井崎 正巳：東京都 戦略政策情報推進本部 ICT 推進部長

#### [コンテスト Web サイト URL]

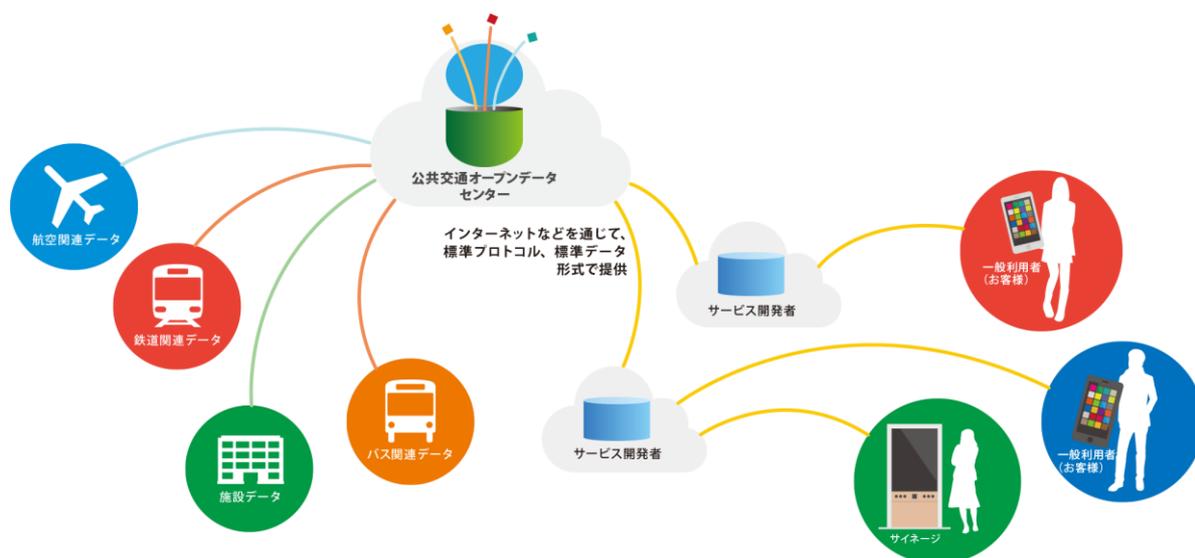
<https://tokyochallenge.odpt.org/>

## 【補足資料】

### [公共交通オープンデータ協議会]

公共交通オープンデータ協議会は、公共交通事業者および ICT 事業者等 65 団体(2019 年 12 月 1 日現在)で構成される、産官学連携の協議会です。鉄道、バス、航空の分野において、公共交通関連データのオープン化に向けた活動を行っています。2019 年 5 月より、鉄道、バス、航空などさまざまな交通機関のデータをワンストップで提供する「公共交通オープンデータセンター」の本運用を行っています。

<https://www.odpt.org/>



公共交通オープンデータセンター